

ニュースポーツルール集  
ユニバーサルホッケー

場 所	人 数
屋内・外	6人対6人

◇ ユニバーサルホッケーをする前に

ユニバーサルホッケーは、Universal (誰でも) と Hockey を組み合わせた造語 (略; ユニホッケー) で、「いつでも、どこでも、誰でもできる」スポーツとして愛好されることを期待して名付けられた、新しいタイプのホッケーです。6名ずつの2チームがプラスチック製のスティックで1個のボールを取り合い、相手方のゴールに数多くのボールを入れた方が勝ちとなるゲームです。

アイスホッケーやフィールドホッケーなど他のホッケーに比べ、安全で簡易なので、年齢・性別を問わず幅広くプレーできるのが特徴です。



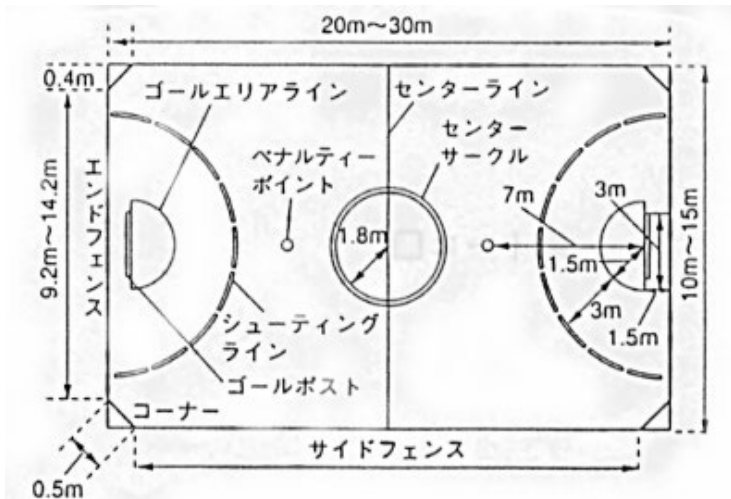
用 具

- ・ボール…… 18個の孔の空いた空洞のイエローボール (周囲 24 cm、重さ 25g)
- ・スティック…… プラスチック製でオレンジとグリーンの2色 (長さは自分に適したものを選択できる 70~100 cm 240~300g)
- ・ゴールポスト…… 幅 100 cm、高さ 90 cm、奥行 50 cm
- ・フェンス…… 縦横の境界線上に、それぞれ高さ 25 cm~30 cmのサイドフェンス及びエンドフェンスを置く。(特になくてもよい)



場所・コート

- ・体育館またはグラウンド
- ・コートは障害物のない長方形の平面であればよい。(体育館ならバスケットコートを利用するとよい)



## ゲームの進め方

- (1) 1チーム6人で構成し、コートの中にはいる。(ゴールキーパーはおかない)
- (2) 競技は各チームの代表1人がセンターサークル内に入り、フェイスオフを行い試合を開始する。フェイスオフは、自陣のゴールを背にしてセンターラインの中央に置かれたボールから、ブレードをそれぞれ30cm離して床につけ、レフリーの合図で行う。フェイスオフを行ったプレイヤーは、他のプレイヤーがボールに触れるまでは再びボールに触れてはいけない。
- (3) 得点は1ゴール1ポイント制で、相手側のゴールポスト内にボールが入ったときに与えられる。
- (4) 得点后、および後半の競技再開のときは、フェイスオフでゲームを開始する。

## ルール

### (1) 競技時間

- ・前・後半それぞれ10分間とし、ハーフタイムに2分間の休憩を設ける。
- ・同点の場合は、5分間の延長戦を行う。

### (2) 認められる行為

- ・ボールを周囲の壁やフェンスに打ち付け、クッションボールを利用してプレイすること。
- ・フライングボールを手の平に当て、真下に落とすこと。
- ・床面のボールを足裏や足の側面で止めること。
- ・防御側プレイヤーが身体接触をせずに相手をブロックすること。

### (3) 主な違反行為と罰則

- ①【キッキングザボール】足でボールをパスする。
- ②【ハイスティック】スティックのブレードを膝より上に持ち上げたり振り上げたりする。
- ③【スタンディングストローク】寝そべったり膝を着いてボールを打つ。
- ④【スローインザスティック】スティックを投げる。
- ⑤【ハッキングザホール】高いボールをつかんだり、投げたり、たたき落としたりする。
- ⑥【ダブルストローク】フェイスオフの際、2度ボールに触れる。
- ⑦【クラッシング】選手のスティックを故意に打ったり、押さえたり、持ち上げたりする。
- ⑧【チャージング】選手を押しつけたり、つまずかせたり、蹴ったり、タックル等をする。
- ⑨【ステップインオフフェンス】体の一部を相手チームのゴールエリアに踏み入れる。
- ⑩【スティックインザゴール】相手のゴールエリアにスティックを入れる。

以上は、相手チームにフリーストロークを与える

- ⑪【ステップインディフェンス】体の一部を味方チームのゴールエリアに踏み入れる。
- ⑫【スティックインザゴール】自分のゴールポストの中にスティックを入れて守る。

以上は、相手チームにペナルティーストロークを与える

## ちょっとひとこと

◎子どもから大人まで幅広く楽しめますが、初心者が競技する場合は、特にハイスティックに気をつけるようにしましょう。また、的確なショットによるパスワーク・頭脳的なチームプレーを心がけるとよいでしょう

《日本フローアールボール連盟、競技規定より》